

社団法人広島県社会福祉士会ホームレス支援委員会(編集:岡崎仁史)

このニュースは、県民の皆様の寄付金である広島県共同募金事業の配分金を受けて発行しています。ありがとうございました。

(特集)「**貧困の拡大、広島での派遣切りの影響**」

◆「**非正規労働者の8万5000人失業見込み(2008年10月～2009年3月)**」

厚労省発表の情報(2008年12月26日)および日比谷公園の派遣村のニュースは、多くの人々の心を痛め関心を引き付けました。広島では派遣切り2620名、新卒内定取り消し23名、その後も中堅住宅販売会社の倒産など、不況に直撃された人のニュースが連日報道されています。派遣切りされた人たちの動向がとても心配です。広島県でも多くの住民の方々は派遣切りされた者、ホームレス者を心配して、夜回り、物品寄付などにボランティアとして参加されています。

◆地方自治体の対応は今回は早く、広島市などが市営住宅の提供、臨時職員の雇用、年末までの生活保護相談提供など、早くに行政施策を打っており、確認できないが奏功して直ちに路上に出なくて良い状況にあるのでしょうか。広島市での生活保護申請が前年同月比の44%増のように、全国政令市全体で32%増になっているようです(朝日新聞2009年1月25日)。

◆関東、中京、近畿のような先端企業の多い地域では、マスコミ報道のように派遣切り→路上生活の危機の中、住宅借上げ、生保をしても路上生活者が多く出ています。家族の支援が希薄な人、社会サービスに結びつかない人が路上に出るのではないかと考えています。以下は、「もう一つの全国ホームレス調査」ネットワークが全国動向を調べており、その広島県の部分です。

「**明るいクリスマスと正月を！年越し相談会 生活保護・労働・多重債務・医療・住まい**
なんでも相談会」に参加して・・・ **ホームレス支援委員会、広島夜回り:鈴木千賀子**

(反貧困ネットワーク) 2008年秋、広島県社会福祉士会へ「反貧困キャラバン広島実行委員会」(実行委員長:山田延廣弁護士 事務局長:秋田智佳子弁護士)から実行委員への参加要請がありました。実行委員会の構成は、弁護士、司法書士、社会福祉士、労働団体、市民団体などです。集会、デモ行進、『貧困の連鎖を断ち切り、広島県民の生活底上げ実現を求める要望書』を各自治体へ提出といった一連の行動に、他の会員とともに参加しました。

(反貧困ネットワーク) その後あらためて、広島でもこのネットワークを継続し「反貧困ネットワーク」を結成すべく、準備会がたちあがりしました。新たに、障害当事者やMSWなどをメンバーとして迎え、標記の「相談会」が、12月24日10時～17時、弁護士会館を会場とし、実施されました。

(相談内容) ①相談員の体制として36名(弁護士25名、司法書士6名、MSW3名、社会福祉士2名)がローテーションを組み、相談52件(電話相談46件、来所相談6件)に対応しました。

②相談内容は、「労働相談」15件、「生活保護相談」17件、「多重債務相談」23件、「住まい」2件、「医療」1件、「交通事故」1件でした。「労働相談」のうち、現在社会問題となっている「非正規労働者の解雇・雇い止め」は8件、「正規労働者の解雇」は3件もありました。

③相談の特徴は、解派遣切りや病気などによる生活困窮の解決のために、即日あるいは後日、福祉事務所への生活保護相談への同行(17件)や、借金整理(20件)などに、相談員が確実に対応したという点です。反貧困のメーリングリストを作成しその後の情報共有を行っていますが、毎日、多様な行動報告が寄せられています。

(社会福祉士の課題) 私たち社会福祉士は、日々の仕事や活動の中で、これらの相談援助に携わっていますが、まだまだ相談機関(相談援助職)に結びついていない住民が多くいるという

ことから、このような相談会や夜回りなどのアウトリーチ相談を継続実施し、潜在ニーズをすくい上げる必要があることを再認識しました。また、反貧困ネットワークを形成することで、相談対応のスキルアップも図れることは貴重なことだと思っています。
それにしてもこのご時勢—政府の失敗、市場の失敗ともいうべき、政治の自助努力の無さから来る人災、一、社会福祉士(会)としてどういう行動をとるべきでしょうか？

広島でのホームレス者数(1月中旬現在)。現在のところ遣切りの影響は微増？

広島市	福山市	呉市
120名(微増)	27名(微増)	25名(増加)

広島市域の状況

社会福祉士会西支部： 鈴木千賀子

①2008年9月以後現在に至るホームレス人数の推移

夜回りの会で確認している人数は、120人前後から微増だと思われます。

②ホームレス化した方々の実情(特に派遣切りなどの影響がどれだけ出ているか)

広島駅周辺で、派遣切りの若い方が増えた、という情報もあります。私自身は市内中心部をまわっていますが、10月以降に30歳代の男性の方6人と新規に出会いました。でもこのたびのいわゆる派遣切りの方ではありませんでした。

行政窓口への相談傾向・実態については、直接報告がなされるでしょうから、割愛しますが、広島市が対策として出している臨時職員雇用や市営住宅提供は、まだまだ空きがあるようです。

③現状の変化に対して各支援団体が行った特別な支援

夜回りの会、社会福祉士会、他の団体も粛々とこれまでの支援活動を続けています。

新聞報道が多くあり(取材)、市民からの活動資金や物品の寄付が増えています。夜回りへの支援活動に参加する人も増えてきています。夜回りに参加している大学生有志は、広島大学が募集する臨時職員対応について、今回の派遣切りの人だけを対象とするのではなく、従来からの路上生活者にも雇用の門戸を開くように(差別しないように!)要望書を出したようです。これについては同感です。人間が住居と仕事を失えばどうなるか、ということがこの情勢で世の中の人にはよく認識できたと思います。しかし、現状の路上生活者で職や住まいを求めている人をあとまわしするようなことにさせてはいけないと思いますので、前進あるのみです。また、対策の上で、区別(差別)はしないしてほしいと思います。

④今後開始する予定の支援 検討中です。

広島夜回りの会お節配布(中国新聞記事 2008年12月31日)

路上生活者に無事年を越してもらいたいと、市民グループの「野宿労働者の人権を守る広島夜回りの会」が31日、広島市民球場前(中区)とJR広島駅前(南区)で120食のお節料理を配った。

市民球場前では、約50人が集まり、お節料理やジャム、ミカンなどを受け取った。今年は、非正規労働者の相次ぐ削減を受け、市民から会に、多くの食品が寄せられていた。

呉のホームレスの現状について

社会福祉士会中南支部： 垣内 富子・坂田 久典

①2008年9月以後現在に至るホームレス人数の推移

呉のホームレス者はここ1年確実に増え続け、確認は取れていないが全体で少なく見積もっても12月末で25名程度(内女性も1名確認)は居ると思われます。我々社会福祉士も社会貢献活動なので支援活動にも限界があり、夜遅くまで夜回りをしていないため、それぞれのホームレス

の一日の活動状況や具体的にどれくらいのホームレスの方が居るのかという実数確認が取れていません。そのために、前回お知らせしたように「路上死」という悲しい事件も生まれました。

②ホームレス化した方々の実情(特に派遣切りなどの影響がどれだけ出ているか)

当会では派遣切りの実態はまだつかめていません。以前から路上生活者が他地域から移ってきています。昨年からの派遣社員の解雇に伴い職を失いホームレス者が増えているという報道を耳にします。呉でもホームレスが増えてくるのではないかと危惧しているが、現在はそのようなホームレス者の情報はないし確認もできていません。昨年の夏から20代の男性2人が入れ替わり広島から河川の橋の下で生活しているが、広島で仕事が途切れると呉に来ている状態です。若い者が増えているとも聞きますし、反対に60歳を超えて年金受給出来るようになった為に、ホームレスから脱却した人や生活保護につながり脱却した人もいます。

③現状の変化に対して各支援団体が行った特別な支援

私たちが4年間やってきたホームレス支援、それは小さな支援であったかもしれないが、身体の調子が悪くなり声掛けをしたことで病院に受診し医療につないだ人も何人かいるし、また、私たちの訪問を心待ちにされている人や脱却された人もいます。路上死があったことで警察行政も夜回り支援に参加しています。

④今後開始する予定の支援

呉のホームレス支援も5年目を迎えようとしており、活動自体、転換期といえます。急激な経済状況の悪化に伴い、従来のホームレス者に加えて派遣切れによる新たなホームレス者が増えることが呉でも予想される中、この問題は民間団体の社会貢献活動、ボランティア活動だけで解決できるものではなく、行政や他の福祉団体の役割、出番だと考えます。ここ半年の急激な増加と最近の派遣切りに対して当会が危機感を感じた為、呉市生活福祉課や呉市社協に対して本格的な人数調査の依頼を行う予定です。これができていないので、マンパワーや物資を含めた支援提供が中途半端に終わっているためです。これからも呉地域では、安否確認と生命の安全を第一に考えて夜回りを行うが、その前に社会福祉士としての社会的使命というものを意識して活動をしていきたいと考えています。

福山の状況 社会福祉士会東支部：鳥海洋二

2008年の年末、福山市にある大手電気メーカーが約300人の派遣社員を解雇する報道があり、金融危機による急激な不況が足元までやってきたことを実感しました。

福山市において、2003年の58人をピークにホームレス状態にある人は徐々に減少、20人をきるまでになっていました。行政、ホームレスを支援するボランティア団体・関係団体の力も大きかったと思いますが、そうした関係団体のつなぎ役となり、生活保護の申請・ハローワークへの同行・年金受給の手続きなど、ボランティアの人たちが苦手とする「個別支援」を行った本会の存在も大きかったと思います。

それなのに今回の金融危機…。また多くの人が路上生活を余儀なくなれるのかと思うと、暗々たる気持ちになりました。

大手電気メーカーの所謂“派遣切り”が始まって、初めての夜回りが12月21日。いつもより2倍のおにぎりとお味噌汁をつくり、行政が発行している「緊急雇用相談」のチラシを手にボランティアのみなさんと夜の街に出かけました。

幸い、年末・年始、所謂“派遣切り”にあった人たちが路上で生活をしているという状況はありません。しかし、わずかな蓄えが費えた時、これからさらに厳しい経済状況が続くとどうなるかわかりません。

普通に仕事をしていた人が仕事と住まいをなくすと簡単にホームレスになる、ホームレスの人たちは決して「好きでやっている」「特別な人ではない」ということが今回の報道で広く認識をされたように思います。「普通に」を守るために私たち社会福祉士は何ができるのだろうか、2009年がスタートしました。

①2008年9月以後現在に至るホームレス人数の推移 12月末で27名前後。(微増)

②ホームレス化した方々の実情(特に派遣切りなどの影響がどれだけ出ているか)

大手電気メーカー福山工場が300人の派遣切をしたことで心配はしたが、大きな影響は今のところありません。若い人が炊き出しを利用して、次の週には来なかったなどの事例はあります。

③現状の変化に対して各支援団体が行った特別な支援

生活福祉資金の貸付、市の臨時職員の採用、雇用促進住宅の入居などをまとめたチラシを行政からもらい、必要に応じて配布しています。

ボランティア活動のご紹介・問合せ先

A 夜回り活動	<p><広島市> (集合日時)12月から3月の毎週水曜日、20時30分～ (集合場所)西区「カトリック観音町教会」</p> <p><呉市> (集合日時)毎月第4火曜日、18時00分～ (集合場所)「呉市社会福祉協議会1F 駐車場」</p> <p><福山市> (集合日時)毎週日曜日、17時30分～ (集合場所)「カトリック福山教会」</p>
B くつろぎ入浴サービス	<p><広島市> (日程)第1・2金曜日、第3・4土曜日 12:30～18:00 (場所)西区(JR 駅近くの便利な場所)</p>
<p align="center">「春よ来い」食事会の開催 路上生活をされている方との交流会、食事会 2009(平成 21 年)3月8日(日)9:00～16:00*準備3月7日(土)、広島市社会福祉センター2階ホール(広島市中区千田町)</p>	
<p>(問合せ先) 広島県社会福祉士会、広島市南区比治山本町12-2、TEL:082(254)3019</p>	

自宅でできる寄付ボランティア

こんなものがあると助かります。眠っている物品があれば、ぜひ寄付をお願いします。

■タオル、衣類(厚手のシャツ、洗濯済みのズボン、ジャンパー、セーター(とっくり付きが良い)、マフラー、ニット帽、ベルト、新品下着(トランクス型)、靴下、運動靴、スポーツバッグ、寝袋、自転車(防犯登録つきの中古)

●食料: お米、缶詰、即席カップ麺、レトルト食品、カレールー、日持ちする野菜(かぼちゃ、ジャガイモ、たまねぎ、だいこん、にんじん)など。

(寄付感謝)①鹿島建設株式会社中国支店様:タオル、②PN ありす様、鳥取県の方:お米、③広島国際大学学生とその家族: 野菜、石鹸、そうめん、しょうゆ、

※この他の物品の寄付については、事務局にご相談いただくと幸いです。